

## 取扱いの趣旨

ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲントマイシン硫酸塩（リンデロン－VG軟膏0.12%）は、抗生物質・副腎皮質ホルモン配合剤（軟膏）（ステロイド外用薬）であり、抗生物質含有軟膏を使用する必要はないことから、傷病名に対する算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和6年5月31日》

168 ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲントマイシン硫酸塩の算定について

### ○ 取扱い

次の傷病名に対するベタメタゾン吉草酸エステル・ゲントマイシン硫酸塩（リンデロン－VG軟膏0.12%）の算定は、原則として認められない。

- (1) じんま疹
- (2) 慢性じんま疹
- (3) せつ
- (4) 乾皮症、皮脂欠乏症

### ○ 取扱いを作成した根拠等

じんま疹は、真皮又は皮下組織に一過性、限局性の膨疹、紅斑及び掻痒が生じる疾患であり、食物や薬剤等原因が明らかなものと明らかな原因がなく繰り返し症状が出現する特発性のものがある。特発性のものは、1か月以内に症状が消失するものを急性じんま疹、1か月以上症状が持続するものを慢性じんま疹と分類している。

治療には薬物療法の第一選択として第2世代の抗ヒスタミン薬を使用する。ステロイド外用薬の使用は、蕁麻疹診療ガイドライン2018において、「膨疹出現が抑制されることを期待し得るが、副作用の可能性を考慮すると一般的な蕁麻疹の治療法としては推奨されない」とされている。

せつは、毛包へのブドウ球菌感染により生じる皮膚膿瘍であり、皮膚の発赤、痛み及び腫れ等の症状が生じる。治療には病巣の穿刺や切開で膿を排出し、抗菌薬を内服投与する治療が一般的で外用薬塗布による抗菌薬の効果は限定的である。

乾皮症（皮脂欠乏症）は、皮膚表面を覆う皮脂の減少により皮膚が乾燥する疾患であり、治療には保湿剤を使用する。保湿剤による治療にもかかわらず増悪して湿疹化した場合は、ステロイド外用薬等の抗炎症薬を用いた治療を併用することがあるが、乾皮症や皮脂欠乏症に対する、ステロイド外用薬投与の必要性は低いと考えられる。

ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲントマイシン硫酸塩（リンデロン－VG軟膏0.12%）は、抗生物質・副腎皮質ホルモン配合剤（軟膏）であり、抗生物質含有軟膏を使用する必要はない。

以上のことから、上記(1)から(4)の傷病名に対する本剤の算定は、原則として認められないと判断した。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩（リンデロン-VG軟膏0.12%）を算定している  
目視対象レセプト1万件当たり、条件（じんま疹、慢性じんま疹、せつ、乾皮症又は皮脂欠乏症に対し  
算定）に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、リンデロン-VG軟膏0.12%  
が査定・返戻となった割合

#### 【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 65.36%

➤ 検証対象都道府県 45

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	秋田、宮城、群馬、富山、和歌山、広島、沖縄、徳島、愛媛、岩手、三重、鹿児島、栃木、静岡、兵庫、岐阜	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	宮城、秋田、沖縄、群馬、和歌山、岩手、富山、山梨、三重、滋賀、愛媛、栃木、千葉、埼玉、兵庫、大分	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	富山、和歌山、鹿児島、徳島、三重、山梨、福岡、宮城、秋田、大分、群馬、沖縄、青森、静岡、鳥取、愛媛	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

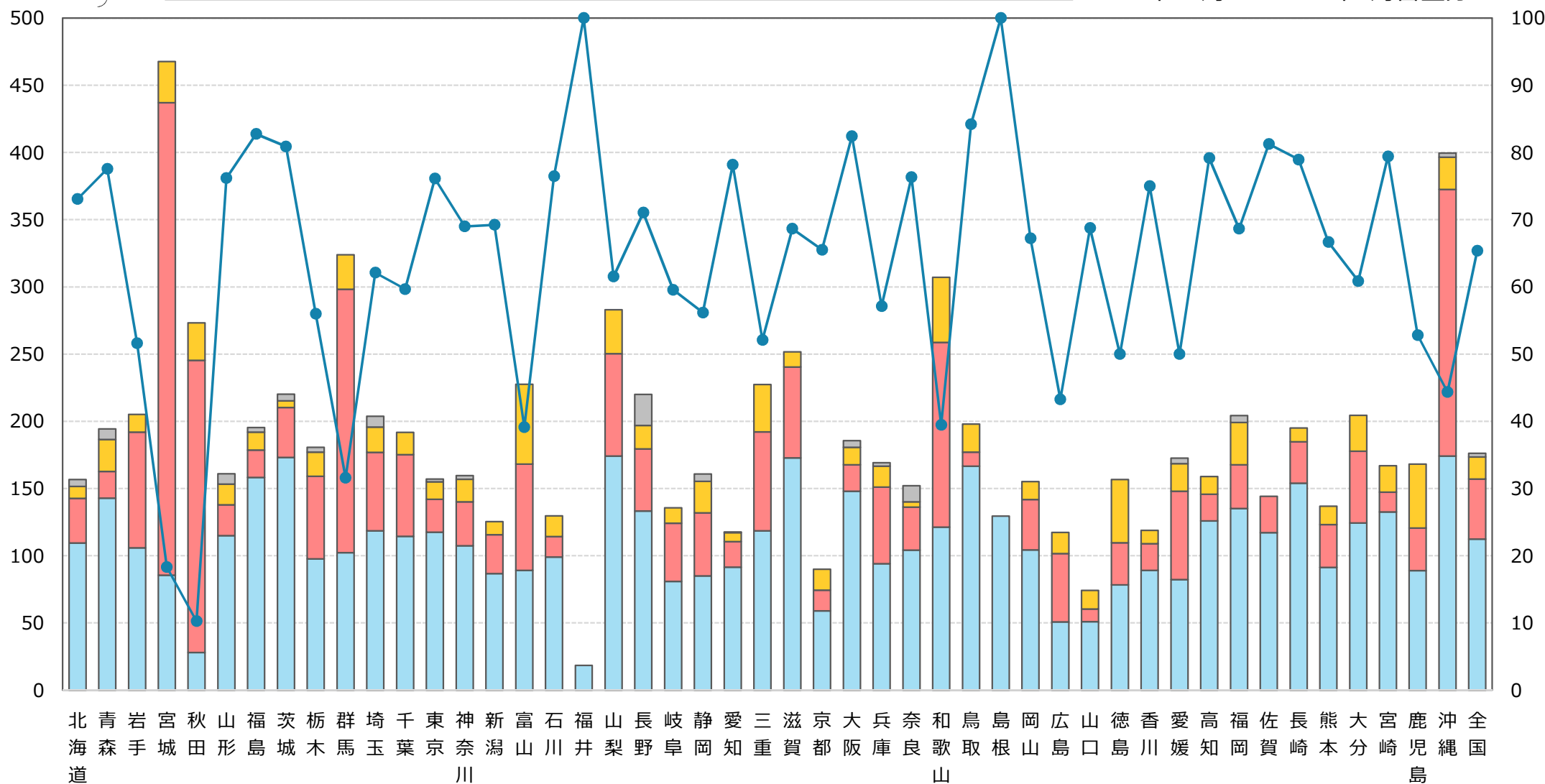
該当件数（全国）	【条件】	
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	4,120件
検証を必要とする審査	請求どおり	2,693件
		1,427件

目視1万件当たり  
該当件数

■ 査定 ■ 請求どおり・職員 ■ 請求どおり・審査委員 ■ 返戻 ● 査定・返戻割合（右軸）

2024年11月～2025年1月審査分

(%)



該当件数	156	49	31	153	39	21	58	89	50	76	227	186	494	229	39	23	17	2	26	38	47	89	197	71	67	58	484	196	38	38	19	11	58	67	16	20	24	42	24	201	16	38	30	46	34	53	133	4,120
請求どおり件数	42	11	15	125	35	5	10	17	22	52	86	75	118	71	12	14	4	0	10	11	19	39	43	34	21	20	85	84	9	23	3	0	19	38	5	10	6	21	5	63	3	8	10	18	7	25	74	1,427

【該当件数】じんま疹、慢性じんま疹、せつ、乾皮症又は皮脂欠乏症に対しリンデロンVG軟膏0.12%を算定しているレセプト件数